

市大を志望するみなさんへ ～在学生からのメッセージ～

在学生から受験生の皆さんへ、自らの体験や心構えなどを交えた熱いメッセージが届きました。がんばれ、受験生！

早い段階で計画を。 後悔しないように！

国際学部国際学科1年 額田 晟太



私が受験に重要だと思うことは、「切り換え」です。受験勉強をしているときさまざまな誘惑に遭遇します。すべて我慢できることが最も良いのですが、誘惑に負けてしまうこともあります。大切なのはその後です。「今日は遊んだから、来週まで遊ばない」、「この間サボったから、今日は頑張る」など、自律することが大切だと考えます。休憩も、10分と決めたら10分で切り換えて勉強に戻しましょう。

また、「計画性」も受験では要諦となります。まずは長期的な計画を立て、それに見合った、毎日の小さな計画を立て、全うすべきだと思います。これは私の失敗談ですが、市立大学国際学部の受験に必要な小論文の対策を、センター試験の後に始めたため大変苦労しました。もっと早い段階で計画を立てておけば良かったと後悔しています。

最後に、市立大学では入学直後にTOEICを受験し、その結果に応じて英語の授業がクラス分けされます。合格してから油断はできませんよ！

学んだことは無駄じゃない。 めげずに頑張ってください！

情報科学部システム工学科3年 永谷 大樹



受験生の皆さん、今受験勉強に励まれていることと思います。情報科学部では、高校で学習する数学・物理・化学などを基礎として、世の中の「ものづくり」の基盤を学ぶことができます。僕自身、高校で学習する理系科目が世の中で何の役に立っているのかわからないまま、ただ勉強していた部分がありました。しかし、市立大学に入学してから、今まで自分が勉強してきたことを全面的に生かして、「ものづくり」につながるさまざまな手法を基礎の部分から学ぶことができました。今、僕は3年生の実験でロボットを動かしています。ロボットを動かすためにはきちんとしたプログラムと回路が必要です。そのためには高校と大学で学んだ知識が役に立ちます。実験でロボットが思い通りに動いたとき、初めてやってきたことが無駄ではないんだと感じました。このロボットをどのように役立てていこうかいろいろと考えています。受験生の皆さん、今勉強していることは、大学入学後に必ず役に立ちます！めげずに頑張ってください。応援しています。

バランスをとりつつ。 自分を信じて！

芸術学部デザイン工芸学科1年 中谷 悠久



みんな言いますが楽しく描くことが1番です！ノって描いているかどうかは作品にも現れます。僕は日頃からさまざまなジャンルの芸術作品を鑑賞して、その刺激を自分のモチベーションにしていました。「こんな風に描いてやろう」、「この技を試してみよう」と、いい作品を真似して吸収することは悪いことではありません、むしろ率先してやるべきだと思います。ある程度枚数を描くとスランプが来るかもしれませんが不安にならないでください。スランプは自分の描き方が固まってきたまわっているということもありますが、目が肥えてきた証拠でもあります。僕も開き直ってあらためてモチーフをよく見るということを念頭において描くようにしていました。もう一つ言いたいことは、「芸術学部だからといって学科試験の勉強をおろそかにするな」ということです。センター試験の点が足を引っ張って落ちた人もたくさんいます。実技と学科のバランスをとりつつ受験に取り組んでください。受験をあきらめずにやり抜くことは後々の自信につながります。どうか自分を信じて頑張ってください。

市大生活の魅力に迫る ～教えて！市大生の生活～

市大で学ぶ学生は約2,000人。同じ数だけキャンパスライフの過ごし方があります。学び、課外活動など、充実した学生生活を送る市大生の姿を紹介します。

興味を最大限に生かして

国際学部国際学科2年 村本 理紗

私が従軍慰安婦について知ったのは大学に入学したばかりの頃です。図書館で何気なく手に取った本がきっかけでした。歴史的な事実には驚いたことはもちろんですが、社会における女性ってなんだろう、と考えるようになりました。そんな私にとって、「ジェンダー論」という授業はとても興味深いものでした。男性と女性の立場や役割が時代ごとどのように変化していったのか、美術作品や映画を通してそれぞれの性がどのように描かれているのか、どのように自分の性を認識していくのか、などについて話し合いながら自分なりの答えを出していくことが非常に新鮮でした。さらに、その授業の中で、実際に元従軍慰安婦の方にお話を聞く機会もあり、ハルモニ(※)の生の声を聴くことができました。ハルモニの辛い経験を私たちは忘れてはならないと感じました。さらに、従軍慰安婦問題に関連して、日本の植民地支配の歴史や日本と東北アジアの国々との関係にも興味を持って勉強しています。自分の興味をとことん引き出し、とことん追求できる。それが国際学部の魅力のひとつだと感じています。

(※)韓国・朝鮮語でおばあさんのこと



附属図書館で本を読む村本さん

仲間と共に夢に向かって

情報科学部情報工学科4年 橋本 翔太

私は現在教職課程を受講し、将来は高等学校の数学の教員を目指しています。3年生の時から、教員になることを夢見る同級生の仲間と学科を越えて関わりを持ち、週に1回勉強会を行い、お互い切磋琢磨しています。勉強会の内容は、自分たちが苦手とする分野の問題を解いてきて、みんなの前に立ち、学校と同じように黒板を使って説明するという模擬授業形式をとっています。そして、勉強会には数学や教職に詳しい先生が来てくださり、先生方の知識や経験を基にアドバイスをしてくださるので、すごく充実しています。これからも、専門としているコンピュータやネットワークといった「情報科学」に関する知識を深め、研究していくことで、幅広い知識を持ち授業をすることができる教員になりたいと思います。市大は学習するための環境がとても整っていて、かつ先生との距離がすごく近いので、自分から動けばさまざまな可能性が広がる環境にあると思います。



仲間との勉強会で模擬授業をする橋本さん

明日の充実のために

芸術学研究所(博士後期課程)総合造形芸術専攻2年 鈴木 崇久

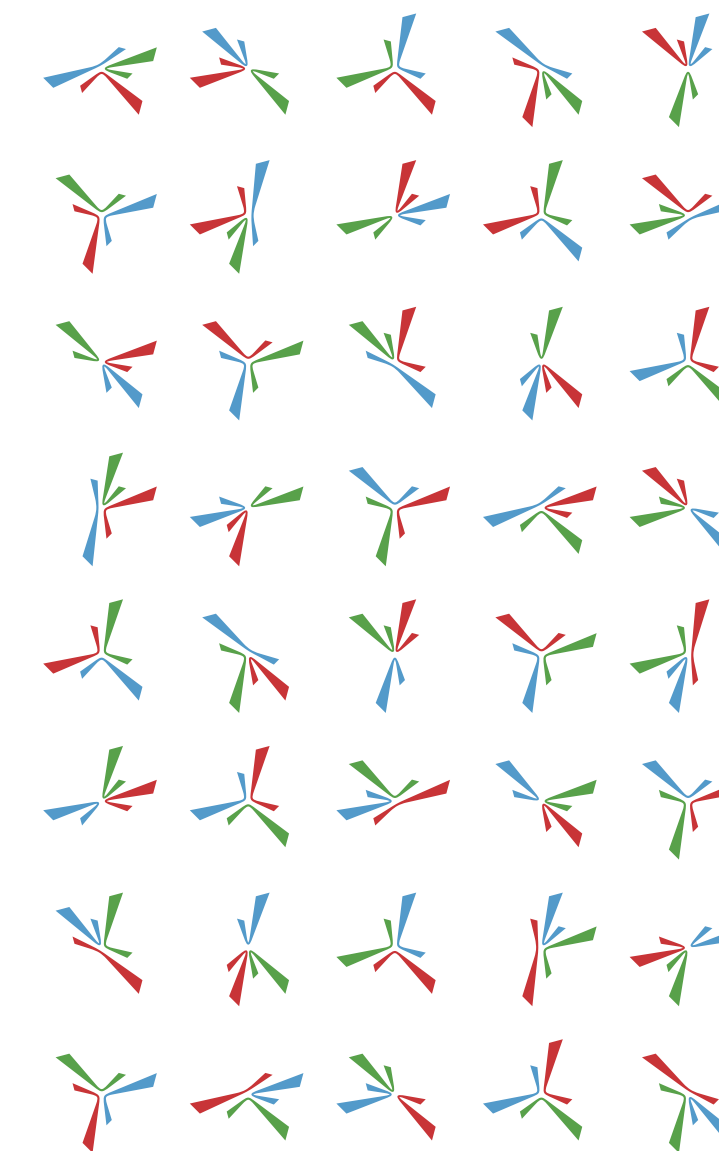
写実的な表現に憧れていた私は、学部4年間を通してひたすらものを見て描くことを学びました。折に触れて、先生方の制作観も伺い、作家として活動し続けてきたことの重さを感じました。課題は、十分な期間を設けて行われるので、一枚一枚の作品をととても大切にすることができました。また、ただ一生懸命描くだけではなく、版画や油彩の古典技法などを学ぶ機会もあるので、自分の作りたいものにより近い表現方法を探ることができました。現在は、植物を題材に制作をしています。幼い頃より継続して植物を栽培しているのですが、日々緩やかに展開し続ける運動には興味が尽きません。彼らのわずかな変化を、栽培を通じて見つめつつ筆をとることで、声を聞くことの叶わない一見寡黙な植物の、生々しい一面を描くことを目指しています。作家となっても一生学び続けることには変わりないと思いますが、さまざまな目標を持つ人が身近にいるという刺激を大切にしながら大学生活を送っています。



作品を制作する鈴木さん

WB.

No.60 west breeze
2013-02



〈表カバー〉
広島市立大学コミュニケーションマーク
「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という建学の基本理念を中心とした大学のブランドイメージを表現するツールの一つとして、コミュニケーションマークを新たに作成しました。

3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

丁寧に
一人ひとりを大事に
社会との関わりの中で
学生を育てます

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL:082-830-1500(代) FAX:082-830-1656
http://www.hiroshima-cu.ac.jp

